

あなたとつながる

12月
定例会

もがみまち **議会** だより

No.171
2021年1月28日発行



今年の主役、牛さんに
えさやりの手伝いをする
子どもたち

- 新年のご挨拶・今年の漢字…………… 2～3
- 10月・11月臨時会…………… 4～5
- 12月定例会…………… 6～8
- 一般質問…………… 9～13
- 委員会活動…………… 14
- 特集／公共施設の維持管理を考える④……………15
- 議会の主な動き、わたしの想い、編集後記…………… 16

一步一步 確実なる前進を

新年のご挨拶

最上町議会議長 伊藤 一雄

新年あけましておめでとう
ございます。

令和3年が町民及び地域にとりましても輝かしい年になります様、祈念致します。

昨年は前年の災害からの復旧に加えて新型コロナ問題で、町始まって以来の対応に追われました。

結果として、町の行事だけでなく各集落の伝統行事・各種イベントも軒並み延期・中止を余儀なくされました。大変憂慮される事であり、まだまだ収束の見えない状況が継続しており、一日も早く元の生活に戻る様に願っております。



おります。
今年にはコロナ禍の中であってもまちづくりの中で起きてくる課題・問題に向けて議論を重ね、結論を見出していかなければと思っておりますし、第5次総合計画の策定の年でもあります。
丑年にちなんで、焦らず確実に一步一步前進できる町になります様、町民皆様のご理解・ご協力をお願いし、年頭の挨拶と致します。

今年の漢字1字は？ 昨年の京都清水寺での1年の1文字は「密」でした

これを受けて最上町議会の一人一人の目指す思いとそれを表す1文字をご紹介します！

<h3>夢</h3> <p>実践できる夢を</p> <p>菅 孝</p>	<h3>歩</h3> <p>牛のように一步一步しっかりと</p> <p>岸 錦也</p>	<h3>命</h3> <p>地球船を守るもダメにするも人間次第</p> <p>山田 則雄</p>	<h3>傾</h3> <p>耳・目・心を傾けて相手の話を聞く</p> <p>宮本 浩</p>	<h3>山</h3> <p>最上町100名山を制覇したい</p> <p>小林 守</p>	<h3>結</h3> <p>気持ちの繋がりも大切に！</p> <p>尾形 勝雄</p>	<h3>守</h3> <p>町民を守る命を守る</p> <p>大沼 正視</p>	<h3>温</h3> <p>穏やかで温もりに満ちた1年に</p> <p>佐澤 浩</p>	<h3>健</h3> <p>健康であることに感謝します</p> <p>佐藤 義男</p>	<h3>忍</h3> <p>我慢の1年になります</p> <p>菅 枉悦</p>	<h3>連</h3> <p>連なっていること脈々と伝えていきたい</p> <p>橋本 正</p>	<h3>然</h3> <p>あるがままの様子を受け入れていきたい</p> <p>伊藤 一雄</p>
--------------------------------------	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	---

11月2日 臨時会 総額461万8千円 ※賛成全員で可決

10月26日 臨時会否決を受けて、予約制乗合バス購入費を除いた部分での議案

【庁舎管理費感染症対策需用費 78万4千円】

問 感染症対策需用費についての詳細は？

答 感染予防のため庁舎に設置するアクリル製パーテーション31基分です。



▼アクリルパーテーション

【交流施設運営費調理機器等リース料 39万1千円】

問 アイスクリーム調理器(パステライザー)は、いつから故障しているのか？ リースにしたメリットは？

答 9月下旬から製造できなくなっています。高額な機器なので、財政負担の軽減のためリース対応です。

【大堀小学校改修工事請負費 344万3千円】

問 エレベーター設置における当初予算に、なぜ今回の工事費を盛り込めなかったのか？

答 保護者・学校・教育委員会との話し合いの中で、学校内全体を車いすを使用する視点で検証した結果、改修工事が必要になる箇所が出てきたためです。



▲アイスクリーム調理器



▲大堀小エレベーター工事(点線部分)

11月24日 臨時会 総額207万1千円

最上町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

・期末手当支給月数を0.05ヶ月引き下げ、4.5ヶ月から4.45ヶ月とする。 ※賛成全員で可決

最上町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定

・期末手当支給月数を0.05ヶ月引き下げ、3.2ヶ月から3.15ヶ月とする。 ※賛成多数で可決

反対討論 佐澤 浩 議員

コロナ禍において、職を失われ、家やアパートまで手放さなくてはならない、路上生活をされている国民の方々もおられます。ですから、0.05ヶ月分ではなくて0.1ヶ月分の削減をすべきではないかと思えます。私達特別職に関しては、この数字を大きくすべきではないかという考えから、反対討論とさせていただきます。

賛成討論 菅 柁悦 議員

全国的に景気が落ちている中、やはりそれらについて人事院勧告は平等の立場から、我々、特別職に対しても一般職にたいしても減額をすべきだという国あるいは県の考えでありますので、我々は国民として、生活するものとして、これらに準じて、みんなで国のため、あるいは県のために尽くすべきだと私は思います。そういった意味で、賛成討論といたします。

激論

予約制乗り合いバス購入費に対して

10月26日 臨時会 一般会計補正予算



反対7人・賛成4人で否決！

▼9月の定例会で執行部が取り下げをした後の1ヶ月半足らずで何が検証できたのか。デマンド交通は、必ず最終的には、人口減少が進めば進むほど必要になってくる。

▼運行エリアや車両台数、これらを含めた令和3年4月からの進め方にも納得できない。

▼国の状況、町の状況を考えて俯瞰すると、今はコロナ対策に力を入れるべきでは。

▼そもそも最初の制度設計がうまくいっていない。携帯電話を持っていないお年寄りはどうやって予約を入れ直すのか。また810万円の原資をまた借金して財政を圧迫する。

▼土曜、日曜日に買い物に行く、または病院に行くための交通手段であるデマンド交通、一度登録したら安心して予約ができバスを待つことができる。そんな中、毎月毎月のように町民への変更があったら、町民は右往左往してしまう。冬場も検証してからも遅くはないのでは。町民不在の行政であってはならないと思います。

▼公共交通体系デマンド交通については、全国的には、平成10年代にコミニケバスが始まりで、20年代にはデマンド交通となり、各戸のドアからドアまでといった事が広がりました。我が町においては、平成24年3月に策定された「地域福祉計画」において、町営バスだけでなく高齢者や交通弱者の社会参加を目指した、自宅から目的地までのデマンド交通体系が必要と答申しております。

▼ウエルネスプラザ特別委員会での中間報告では、議員12名の総意として「デマンド交通を運行し町全体の足の確保を図るべき」と報告しております。

▼現在、最上町では屋根付の停留所は、ふれあい学園の1箇所のみで、この寒さに凍えながらバスを待ち、乗り降りするのは、福祉の町として改善を考へなくてはなりません。

▼町民の幸せと健康を願いながら、一日も早いデマンド交通体系を望むものであります。春になれば、寒さも和らぎます。春の息吹と共にデマンド交通が、西地区においてスタートできますように望みます。

反対討論

賛成討論



▲予約制乗合バス 予約センター

議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
氏名	菅 孝	岸 錦也	山田 則雄	宮本 浩	小林 守	尾形 勝雄	大沼 正視	佐澤 浩	佐藤 義男	菅 柁悦	橋本 正	伊藤 一雄
討論	-	-	反対	反対	反対	反対	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
採決	否決	否決	否決	否決	否決	否決	賛成	否決	賛成	賛成	賛成	賛成

※議長は採決に加わりません

12月定例会

会期：12月9日(水)～11日(金)まで

令和2年度

同意 1件

最上町固定資産評価審査委員会の選任

条例改正 2件

税条例等の一部を改正する条例
学校林の設置及び経営に関する条例の一部を改正する条例

契約の変更 1件

堺田地区小規模水道浄水施設設置工事請負契約の一部変更

規約の変更 1件

最上圏上下水道共同管理協会規約の一部変更

指定管理者の指定

4件

一般会計補正予算

1件

特別会計補正予算

6件

計16件
賛成多数
原案どおり可決

令和2年度 一般会計・特別会計

補正予算可決

補正額 3億2818万円

総額 124億1783万円

人事案件

固定資産評価委員(再任)
藤畑 敬美 氏
(富沢)
任期：令和2年12月21日～
令和5年12月20日まで

固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行います

堺田小規模水道工事変更

契約の変更内容は？

答 当初50m離れた水路に、排水管を国道脇に埋設して排水する設計でしたが、十分な勾配が取れないことから、浄水場付近の水路に民地の許可を経て排水管を埋設する設計に変更するもので、埋設延長が延長したため、減額になるものです。

指定管理者 決まる!!

施設名	指定管理者
1 最上町ウエルネスプラザ健康福祉増進施設	最上町社会福祉協議会
2 最上町高齢者生活福祉センター(陽だまりの家)	最上町社会福祉協議会
3 最上町西公園体育施設及び最上町簡易宿泊施設りんどう	(株)最上町地域振興公社
4 最上町前森地域活性化施設(前森高原)	(株)MGM

指定管理者

審査基準は？

答 審査項目5つを100満点で採点し、AからEの5段階で評価を行っています。

指定管理者選定委員会7名のうち、外部委員が1名しかいないが、増やす考えはないのか？

答 委員の構成については、状況に応じた考慮が働いて構わないと捉えています。



▲馬柵は一部鉄骨がむき出し

問 前森高原施設の老朽化について、中・長期的な修繕計画は立てているのか？

答 今回の契約更新に伴い、直接現場で業務をしている方からヒアリングし、各施設の設営時期、機器の耐用年数を改めて分析し、修繕計画を見直していきます。

県道尾花沢最上線

問 県道28号尾花沢最上線の携帯電話の不感地帯の解消は？

答 非住居エリアではあるものの、交通量も多く観光振興の為に県を通じて要望して参ります。

生活応援

問 感染症対策の冬の生活応援事業扶養費とは？

答 新型コロナウイルス感染症予防の為、マスク購入など生活費が圧迫されている高齢者や一人親世帯等の低所得世帯を対象に、1万円分の地域限定商品券を交付し経済的負担の軽減を図るものです。



月楯堰の河床低下

問 土地改良事業補助金の内容は？

答 この度の補助金は、月楯頭首工の取水安定に資するため、最上町土地改良区が河川敷内に護床ブロックを設置する事業費の30%を補助するものです。

経済支援事業

問 新たに行う4割増商品券とクーポン券とは？

答 4割増商品券は1万4千円分を1万円で販売するもので、2月上旬発行予定です。またクーポン券は5月に行った第2弾として、今回は2千円分を1千円で購入できるもので、使いたい店で買えるものです。

GIGAスクール

問 GIGAスクールサポーター配置業務委託料の内容は？

答 来年度からの実施に向け、使用方法や貸出規程などの整備を委託するための経費です。

問 導入によって教職員の負担は大丈夫なのか？

答 12月中で校舎の工事は完了予定です。端末の有効活用のため、教職員対象の研修を年明けから予定しています。教職員の負担が増えることのないように配慮していきます。



▲折りたたむとタブレットとしても利用できる

新型コロナウイルス医療環境

問 医療用消耗品、手袋や防護服は不足していないか？

答 手袋は今後6ヶ月程度の備蓄があります。国民にマスク等が行き渡り、価格も安定してきており、購入も容易になってきています。また、国や県の機関からも、発熱外来を整備した医療機関として消耗品が送られてきているので、消耗品が不足している状況ではありません。

問 町内の医療機関同士の協議会を立ち上げる考えは？

答 新庄市最上郡医師会を軸として、さまざまな情報交換や意思決定を行っていますので、協議会を立ち上げるまで至っていません。

町政を問う

5 議員が一般質問

※掲載している文章は抜粋したものです 詳しくは議会中継の議員名から選んでご覧下さい



佐澤 浩 議員

持続可能な 令和3年度の財政規模は

町長答弁 予算規模は56億1千万円の計画

質問 歯止めのかからない少子高齢化による人口減少。それは我が町だけの問題ではなく、全国の多くの市町村も、抱えている問題でもありますが、一地方自治体だけでは財政に限りがあり、加速を減速し食い止めることは決して容易なことではありません。人口1万3千人で支えてきた最上町。現在8千人で支え続けている最上町。今後の人口減少を見据えた上で、令和3年度の財政規模は？

答弁

議員が言われる通り、少子高齢化による人口減少社会の急激な進展は、地方自治体の財政運営に厳しさをもたらし、その持続のための適切な対応が今、強く求められております。

過疎町村に位置する当町においては、その事はより切実な、喫緊の課題と捉えるところであります。今年3月に策定しました町の財政計画は、令和5年度までの計画となっており、予算規模については、令和3年度が56億1千万円、令和4年度が56億円、令和5年度は55億8千万円となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により、国の地方財政計画において予断を許さない状況が続く中、持続可能な財政規模を厳しく見極めていかねければなりません。

町にとって今後、最も重い課題となる公共インフラの整理統合も含めた維持管理、そして事務事業の総合的な見直し等も持続可能な財政運営にとつては必要となっております。改めて町の予算については、一般会計・特別会計の別なく町民の皆さんの暮らしを支える公共財であります。人口規模が縮小しようとも、この町で自身と誇りを持って暮らすことが可能です。

らし続けることが可能な自治協働のまちづくりを官民挙げて築いて参りたいと考えております。



▲平成15年3月31日まで現金を管理していた大型耐火金庫



▲56億1千万円の予算規模

請願・陳情 皆さんの声を慎重に審議いたしました

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
請願 国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	新庄民主商工会 会長 安食 輝敏	山田 則雄	総務文教 常任委員会	不採択

【不採択理由】… 消費税5%以下に引き下げを実施した後の社会保障問題・待機児童の解消・幼児教育・高等教育の無償化などの財源確保が示されていないため。

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
陳情 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出についての陳情	山形県医療労働組合 連合会 執行委員長 渡辺 勇仁		産業厚生 常任委員会	採択

【採択理由】… 地域の実情を踏まえた医療体制の充実を図ること・ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充することなどが必要であるため。

議員発議 誹謗中傷をなくし全町民が一丸となり支え合うことにより 新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

【決議全文】 現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速に感染拡大が進んでおり、12月に入り第3波、更に感染が拡大している状況であり、その中であって、私たちは感染拡大の防止に細心の注意を呼びかけながら、社会経済活動の両立に向け、町民一丸となり、日々生活しております。

こうした状況の下、感染者やその家族や親戚、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名で心ない誹謗中傷や間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染経路を模索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、お互いに疑心暗鬼となり、これまで長い間培ってきた絆や共に助け合う信頼関係が失われていくことを絶対に阻止しなければなりません。

全町民、国全体に元気な社会で居られることを願うものです。

今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であり感染者を誹謗中傷することではありません。今こそ町民が一丸となり、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

よって、最上町議会は、新型コロナウイルス感染症に関する諸課題に全力で取り組み、誹謗中傷の根絶を目標に頑張っていくことを表明します。

以上、決議する。

デマンド交通の検証は？



町長答弁 地域の実情を把握し計画を進めます

答弁 現在、今後、更なる事業検証を行い、一日も早いバス導入を目指したいと考えます。また、各集落で行われているサロン活動に出向き、説明を重ねています。また各集落で行われているサロン活動に出向き、説明を重ねています。

質問 臨時議会で否決された「バス購入」の対応は？「町民のもとに出向き、説明を重ねてゆく」というものの効果はあったのか？

質問 文化観光推進法の来年度に向けた計画について。来年度の政府の予算では、今年度の2倍の52億円が計上され、政府の意気込みを感じる。9月議会では「若手職員を中心としたプロジェクトチーム」を作り文化

文化観光推進法のモデル地域になるための具体的な方策は？



▲デマンドでは行けない「湯けむり館」

答弁 特にそれに向けては行っていない。今年度の2倍の52億円が計上され、政府の意気込みを感じる。9月議会では「若手職員を中心としたプロジェクトチーム」を作り文化

質問 文化観光推進法の来年度に向けた計画について。来年度の最上町に人材育成の予算は行っているのか？

答弁 指定文化財の他に地域で守られている伝統文化について登録制度を設けることで内外に発信する制度について検討します。文化財の保全などに力を入れております。

と観光振興を行う、という答弁を頂戴したが、その後の進捗状況は？

た中でも有意な審議会であったり研修であったりということが各課から予算要求等があればしっかりと配慮してまいります。やはり知見を集め、そして町の魅力を磨くという点では、人権的なコストの部分につきましても一定程度配慮してまいります。



▲横川観音堂での学習会

町のSDGsの取り組みとスケジュールは？



町長答弁 SDGsの理念を最大限反映させ施策を展開する

質問 SDGsは2015年に国連で全会一致により採択され、人類の生存戦略の一つの到達点で、こういう世界を次世代に手渡したいという決意が示されている。前文には少数民族や障がい者、性的マイノリティーら社会的少数者を排除せず、誰一人取り残さないことや、格差の解消により全ての人が参画できる社会を目指すとの明記されています。193カ国、先進国を含む国際社会で17の開発

目標、169の数値目標が掲げられている。町の総合戦略の推進でも、プロジェクト事業をはじめ施策を展開していく際には、示されている横断的な目標を念頭に検討し、実現に向けて取り組むとあります。17の目標の中で何を重要とするのか？目標に対しての取り組と、2030年までのタイムスケジュールをお伺いします。

答弁 SDGsは2015年9月の国連サミットにおいて、193加盟国の全会一致で採択された2030年を期限とする持続可能な開発目標を定めたものであります。町ではこれまでも持続可能なまちづくりを目指し、第2期総合戦略・スマー

トコミュニケーション構想・男女共同参画基本計画・

平和都市宣言・健康と福祉のまち宣言・産業の振興と雇用の創出・子育てと教育の充実・町民の健康と福祉の増進、とりわけ環境にやさしいまちづくりにも重点的に取り組んできており、SDGs理念と合致させていく政策が必要です。人口減少や縮小社会の中にある中でも将来にわたって「住み続けられるまち」となることを目指し、SDGsが求めている環境・経済・社会をバラバラにせず、次世代を担う子ども達や町民の方々に

広く啓蒙する取り組みが必要であると考えており、現在策定を進めている第5次総合計画においてもSDGsの目標とつながりを持たせながら進めてまいります。



▲SDGsの17のゴール目標

図書室の充実化と 地域情報公開について



山田 則雄 議員

町長答弁 現在ある施設を活用工夫し
充実に努めていきます

質問 広報10月号に「第4次総合計画」で中央公民館図書サービス改善必要とありました。図書室のありようは将来の最上町のまちづくりの中心においても何の違和感を感じてものではありません。今ある施設での図書環境を取り上げます。

(1) 地域づくりの情報などのように室内に揃えられているか
(2) 子育て支援の情報が見えやすく手に取りやすいところにあるか
(3) 最上郡内他市町村の広報誌が見やすいところにあるか

答弁 昭和48年コミュニケーションセンター図書室として開館、蔵書数は約2万7千冊、1600人から利用され、貸出数6179冊となっております。平成22年からすこやかプラザ内にひまわり図書室を新設、児童図書や大型絵本、紙芝居等を移しました。子育て支援情報は冊子にまとめて提供しています。

三階図書室に郷土資料や各種計画書を配置し、地域づくり情報は毎月広報もがみに掲載し、町ホームページでも紹介しています。

一階図書コーナーでは



▲文化の拠点となる「図書館」が望まれる

新たな再生可能エネルギー 政策の考えは



宮本 浩 議員

町長答弁 新たな可能性を積極的に
検討していく

質問 木質バイオマス以外のエネルギー政策の計画はあるが進んでいない。各種計画の中間評価年にあたり、今後どう取り組んでいくのか？

答弁 平成27年3月に「最上町バイオマス産業都市構想」を制定し、その中で食品加工残渣や家畜排せつ物等のバイオマスを活用したエネルギー利用を挙げていますが、現在はこれらを活用した具体的な取り組みは行われていない状況です。これらの循環型社会を構築



▲牛の排せつ物などで一般家庭900世帯分の電力が作られている

質問 飯豊町で発電が始まった牛の排せつ物から発電する施設を見学してきました。町内でも近年、畜産分野で町外の大手企業が事業を始めていますが

するためには、町のみなさん民間企業のノウハウを活用し、町民の理解と協力が必要不可欠です。木質バイオマスを推し進めていく事は勿論ですが、新たなバイオマスの可能性についても積極的に検討していきます。



▶飯豊町で発電開始したガス化施設の一部

質問 今後、そういった企業と協同していく可能性は？

答弁 横川地区で肥育する企業の理念には家畜の排せつ物をガス化して発電するという事も謳われていますし、可能性はあると思います。

質問 今年、問題になった出羽三山の風力発電事業の計画と白紙撤回の件。今後、景観や環境配慮に欠ける事業の恐れがあっても事業を止められない場合が出てくるかもしれません。その時に町として独自にできる防衛策はないのか？例えば、環境に優しいまちづくり条例を創り、その中にそういった事を盛り込んでいくか？

答弁 環境に優しいまちづくりとして、最上町版の環境条例の検討もあると思います。行政だけでなく町民を含めて立つ位置を分かち合えるまちづくりを今後も進めていきたいと思っています。

そのほかに「業務の効率化と時間外削減の取り組み」について質問しました。

ろにあるかどうか
(4) 郷土資料の配置があるかどうか
(5) 最上町の各種計画、これまで計画されたものの実施された資料はどこに存在するか？

県立図書館と連携し相互貸借を行っており、管内すべての市町村広報誌もご覧頂けます。

他自治体のような独立した図書館建設につきましては、人口減少社会の中、現在ある施設の活用を工夫しながら、図書サービスの充実に努めてまいります。

道路

1 町道・農道の路線数と管理距離

	路線数	整備済	未改良	総距離
町道	171路線	約87km	約40km ^{※1}	約127m
農道	4路線	6,538m	— ^{※2}	6,538m

※1 主な未改良路線
白川野頭線4.8km(野頭から白川堰堤の奥まで)、立小路線3.7km(集落過ぎて佐平橋から北)、仲神小倉見線3.5km(東法田から前森まで)、末沢線7.9km(ふれあい学園から山手)等

※2 農道の未改良はないが、向町7区から月楯へ抜ける農道を町道への格上げが要望されている

2 道路の更新費用

町で所有する道路を、現状規模のまま保有し更新を行った場合

40年間で総額**90.3億円**

単年度平均にすると**2.2億円**と試算(公共施設等管理計画)平成29年3月策定時

令和元年度決算では、**6,030万円**程(道路修繕費・公共道路改良費等)



▲向町商店街の道路補修前



▲補修後

3 課題

- ・ 事故を防ぐ為の迅速な道路補修
- ・ 未改良道路の整備
- ・ 人口減少の中で現状規模を維持管理していくのか？

まとめ

生活になくてはならない道路。道路を安全に維持していく為に、従来の道路維持管理手法を見直し、データでのシステム管理が必要になってくるのではないかと

また人口が減り続ける中で、今後どこまで整備し維持管理していくのか、時代に合わせた都市構造の在り方も含め考えていかなければならない。

今回は「公民館」について考えます。

委員会活動

総務文教常任委員会

持続可能なまちづくりの町有財産の在り方

4回にわたって「公共施設の維持管理」をテーマに町内の公共施設を11月18、25日に、次の視点で考察しました。

- ① 教育分野 (廃校になった小学校・学童保育・西公園施設・公民館)
 - ② 総務・建設分野 (町営住宅・除雪センター)
 - ③ 産業分野 (旧ミツボシ縫製跡地・前森高原)
- その結果、次のことが浮かび上がりました。
- (1) 維持なのか、修繕する価値はあるのか
 - (2) 誰が活用しているのか。誰が運営を担っているのか

- (3) 買収した時の金額と、それを貸し出して利益を得たのか
 - (4) 顧客のニーズや安心をどう担保するのか
- 「利用頻度はどうなのか?」「どう支出を減らし収入を増やすか」「売却して固定資産税をもらってはどうか」「雨ざらしの重機を廃校に格納しては」等のアイデアが出されました。



最上町が取り組む森づくりの状況把握

11月25日(水)に

- ① 森林管理経営制度に基づく施業地(市ノ沢林道沿い)
- ② 主伐再造林一体施業地(林道奥の細道線沿い)
- ③ もがみ木質バイオマスエネルギーチップ工場
- ④ マルカ林業(株)、もがみバイオマス発電(株)を視察してまいりました。

林道奥の細道線や市ノ沢林道は大型の機械やトラックが入りやすく、新しい森林管理経営制度も活用して森林整備をおこなっており木材を無駄なく活用する仕組みと合わせて最上町の強みを実感できました。

また「もがみ木質エネルギー」の地元企業の充実度を見聞し、また「花粉が少ない」杉の苗木を育てていることも分かりました。

最後に、福田の新庄市中核工業団地にある「もがみバイオマス発電」と「マルカ林業」も視察してまいりました。間伐材の利用価値が向上しており、利用間伐の推進がさらに必要な状況がみられました。



議会改革 特別委員会

【講師を招いての独自の研修】…山形県町村議会議長会の事務局長である武田裕樹氏から「議会運営の諸課題」と題して議員定数と議員報酬の考え、議会の役割と機能を発揮するためのシステムづくり、地方議会のデジタル化の現状などを聞くことができました。今後も研修を重ね、町民の方の意見も取り入れていくことも考えながら、しっかりと時間をかけて話し合っていきます。



▲武田事務局長の講演

【定例会後の検証】…令和2年9月定例会から、定例会中の議事運営、発言の内容などを議員全員で振り返ることで、議員・議会の質を向上させる目的として取り組み始めました。会期の日程や議会運営は適切だったか?一般質問や議案審議の質問の仕方はどうだったか?例えば答弁をもらった後に「ありがとうございます」という発言は不適切であることや、あくまでも質疑なので要望して答弁を求めないことはすべきではない。など、自分の発言を改めて見つめ直す機会になっています。

議会の主な動き

11月13日 区長連絡協議会役員との懇談会

「コロナ禍」「人口減少」「空き家」「一人暮らし高齢者」などについて意見交換を行いました。



11月20日 町村議会議員研修会

「高畠町文化ホールまほら」において、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部の鍵屋一教授から「災害対策における地方議会・議員の役割について」、政治評論家の加藤清隆氏の「今後の政局の行方」の講演が行われました。



12月12日 赤倉温泉スキー場安全祈願祭

シーズンの安全と多数の来客、安定した降雪などを議員一同、祈願致しました。



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

”わたしの想い“

「図書館のある暮らし」

伊藤晴康さん【向町】



私は読書家ではない。満70歳の老人である。近くに図書館があったら、もっと違った人生があったかも知れない。子どもの頃、私の家には絵本も漫画本も数冊しかなかった。当然読む習慣もなく、中学生になった初めての夏休みに、名探偵ホーム

ズシリーズを読んだ。これは面白かった。夏休みが終わり日常に戻ったが、それからというもの、図書館通いが加わり手当たり次第に本を読んだ。アガサ・クリステイ、水滸伝、ロウソクの化学、永久運動の理論など広い分野に及んだ。ほとんど忘れてしまったけれど、面白かったことだけは昨日のように覚えている。読書は私にとって娯楽だった。この年になって、子どもから大人まで集える図書室(館)のある暮らしがしたいと、思うのである。

議会傍聴へのご案内

次回の定例会は 3月 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 838 回

議会傍聴者数 5 人でした



QRコード

12月定例会の配信は1月下旬から公開予定です
過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も5年であり、皆様におかれましては、一歩「誠実」に歩まれることを祈っています。

さて令和2年12月14日から、の寒波による大雪が続いて、今思うと異常気象を予告したかのように、我が家の春に咲く桜が9月14日から12月初旬まで花を咲かせていました。

この時期に咲くことがない桜が、今後も予想されます異常気象や厳しいコロナ禍を象徴するかのようでした。先の見えない時代ですが、皆さんと共に切り開いていきたいと願っています。

本年もよろしく願っています。

(尾形勝雄)

【発行責任者】

議長 伊藤 一雄

【広報編集委員会】

委員長 尾形 勝雄

副委員長 宮本 浩

委員 佐澤 浩

菅 小 林 守

岸 菅 孝

錦也